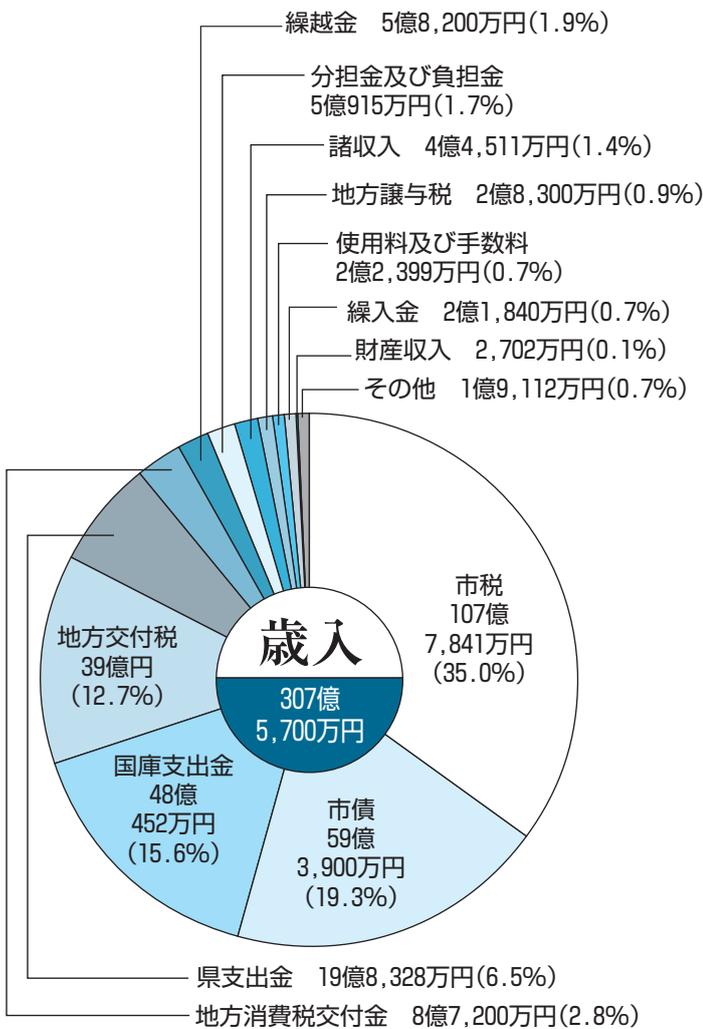


総額517億4,378万円

一般会計	307億5,700万円
特別会計	186億 832万円
企業会計	23億7,846万円

★財政課 ☎ 1163

予算の構成



前年度予算との比較

平成26年度	517億4,378万円
平成25年度	481億6,850万円

会計別予算

区	分	予算額	増減率
一	般 会 計	307億5,700万円	13.0%
特 別 会 計	国民健康保険特別会計	95億9,229万円	△1.7%
	公共下水道事業特別会計	23億4,845万円	△1.8%
	住宅資金貸付事業特別会計	491万円	△15.6%
	児玉南土地区画整理事業特別会計	2億6,924万円	6.5%
	農業集落排水事業特別会計	3億5,485万円	0.1%
	介護保険特別会計	53億2,684万円	1.8%
	後期高齢者医療特別会計	7億1,174万円	6.4%
企業会計	水道事業会計	23億7,846万円	4.4%
合	計	517億4,378万円	7.4%

※水道事業会計は、収益的支出及び資本的支出で集計

全国的に少子化、高齢化が進むなか、本市ではこれまで、将来にわたって安心して暮らし続けることのできる持続可能な社会を作るため、多くの課題に意欲的にチャレンジし、一定の成果が得られたものと感じています。とはいえ、本市を取り巻く状況には、なお多くの課題があります。未来の子どもたちに胸を張ってバトンを渡すため、より一層力を合わせ、持続可能な、健康的で、魅力のある、支えあいの地域社会を実現していかなければなりません。

すべての市の事業は、本庄市、また、本庄市民にとって「健やか」な未来を創るためのものであり、財政面や将来性など、さ

【行政経営に関する基本的な考え方】

本年は、「人も地域も元気で健康な都市本庄」を念頭に置き、昨年の3月に策定した「本庄市総合振興計画 後期基本計画」に基づき、本市の将来像「あなたが活かす、みんなが育む、安全と安心のまち本庄」世のため、後のため」の実現に向け市政に取り組んでまいりますので、皆さまの一層のご支援とご協力を賜りたいと存じます。



本庄市長
吉田 信解

平成26年度予算 (一般・特別・企業会計をあわせて)

(仮称)市民プラザ跡地複合施設



(イメージ図)

(仮称)児玉総合支所複合施設



(イメージ図)

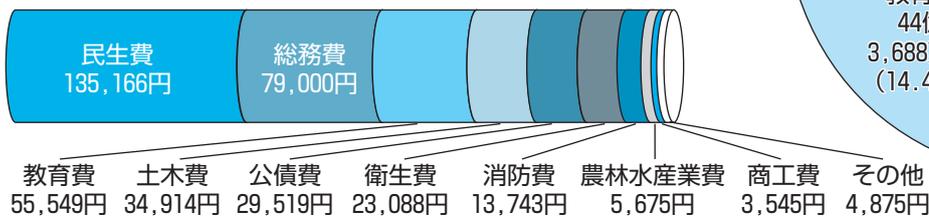
市民1人当たりが負担する市税*

総額 134,944円



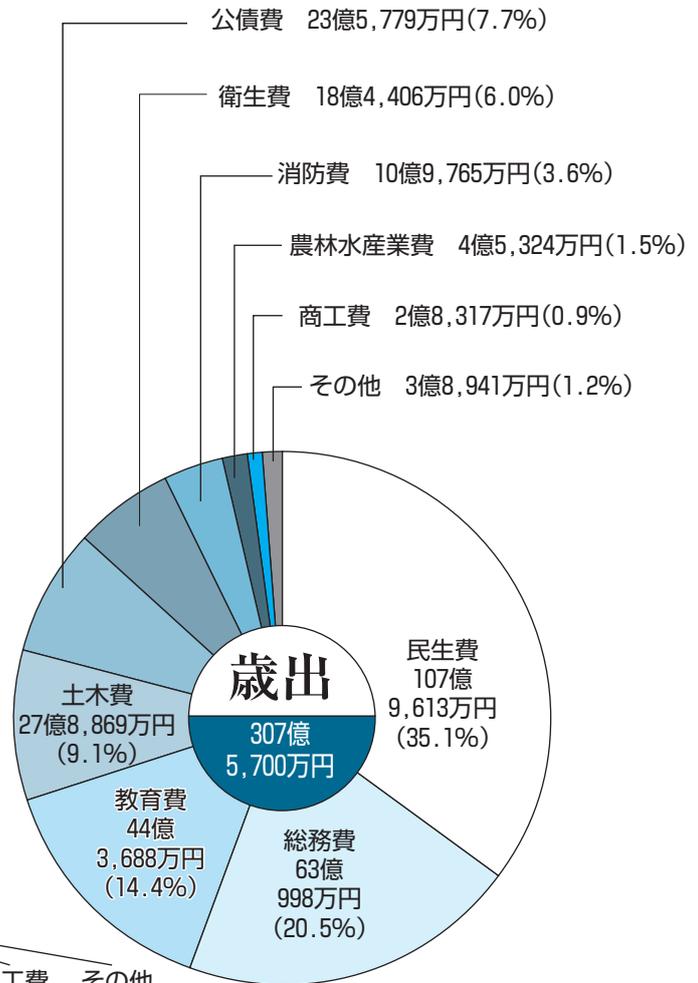
市民1人当たりに使われるお金*

総額 385,074円



*平成26年1月1日現在の人口(79,873人)をもとに計算

一般会計



さまざまな角度から見て健全なものでなければならぬと考えます。このような視点を踏まえ、各種施策を推進していきます。

【予算編成の基本的な考え方】

本市において、将来人口は減少傾向にあり、高齢化率が上昇し、生産年齢人口は、将来人口の減少率以上の減少傾向にあると予測しています。本市では、この人口減少を是とせず、社会保障関連経費の増加や老朽化してきている公共施設の維持・更新に対応しつつ、持続可能なまちづくりを進めることが課題となっています。

平成26年度の予算編成は、このような状況を踏まえ、「本庄市総合振興計画 後期基本計画」に掲げた諸施策を実行するための予算編成とし、限られた財源を効果的・効率的に配分し取り組んでいくこととしました。

特に、大規模事業の工事の影響により平成26年度の予算規模は、平成25年度より大幅に増加しますが、国庫補助金や合併特例債などの市にとって有利な財源を活用し、将来にわたり安定的な財政運営に努めながら、「人も地域も元気で健康な都市本庄」の実現を目指して、「都市機能の維持・強化」、「健康づくりの推進」、「Ecoタウンの推進」、「学校施設整備の推進」を重点的・優先的施策として取り組んでいきます。